

【単価表-1】ダウザホールハンマエ(A工法 砂充填)[歩掛]H-400 継杭無 砂質土1.2m 軟岩2.0m 平均杭長9.7m(頭出杭長6m超)

1 本 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.500	○	
とびエ		人	0.500	○	
特殊作業員		人	0.500	○	
普通作業員		人	0.500	○	
クローラークレーン運転	[油圧駆動式ウインチ・ラチェスジフ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]90t吊	日	0.500	○	【機械運転単価表-1】
ダウザホールハンマ運転	[空圧式]掘削孔径φ508～762mm	日	0.500	○	【機械運転単価表-2】
空気圧縮機運転	エンジンコンプレッサ 吐出量18.0～19.0m ³ /min	日	2.000	○	【機械運転単価表-3】
ラフテレンクレーン運転	[油圧伸縮ジフ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	日	0.500	○	【機械運転単価表-4】
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m ³	0.900		
諸雑費(率+まるめ)	労務費・機械運転経費の35%	式	1.000		

※ 諸雑費は、注入管、高圧ホース、グラウトポンプ(モルタル圧送用)、コンクリートバケット、土砂ホッパ、レシーバタンク、電力に関する経費、ビット等の損耗費用、架台等の費用であり、労務費・機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【単価表-2】ダウザホールハンマエ(A工法 砂充填)[歩掛]H-400 継杭有 砂質土1.3m 軟岩2.8m 平均杭長14.0m(頭出杭長6m超)

1 本 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
土木一般世話役		人	0.700	○	
とびエ		人	0.700	○	
特殊作業員		人	0.700	○	
普通作業員		人	0.700	○	
クローラークレーン運転	[油圧駆動式ウインチ・ラチェスジフ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]90t吊	日	0.700	○	【機械運転単価表-1】
ダウザホールハンマ運転	[空圧式]掘削孔径φ508～762mm	日	0.700	○	【機械運転単価表-2】
空気圧縮機運転	エンジンコンプレッサ 吐出量18.0～19.0m ³ /min	日	2.800	○	【機械運転単価表-3】
ラフテレンクレーン運転	[油圧伸縮ジフ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	日	0.700	○	【機械運転単価表-4】
コンクリート用骨材 砂	洗い 細目	m ³	1.200		
諸雑費(率+まるめ)	労務費・機械運転経費の35%	式	1.000		

※ 諸雑費は、溶接材、ボルト・ナット、電気溶接機、インパクトレンチ、トルクレンチ、注入管、高圧ホース、グラウトポンプ(モルタル圧送用)、コンクリートバケット、土砂ホッパ、レシーバタンク、電力に関する経費、ビット等の損耗費用、架台等の費用であり、労務費・機械運転経費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

【機械運転単価表-1】クローラークレーン運転（[油圧駆動式ウインチ・ラチスジフ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]90t吊）

1 日 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
運転手(特殊)		人	1.000		
軽油		L	90.000		
クローラークレーン損料	[油圧駆動式ウインチ・ラチスジフ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]90t吊	供用日	1.080		
諸雑費(まるめ)		式	1.000		

※ 諸雑費は端数処理のみ計上する。

【機械運転単価表-2】ダウンサホールハンマ運転（[空圧式]掘削孔径φ508～762mm）

1 日 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
ダウンサホールハンマ損料	[空圧式]掘削孔径φ508～762mm	供用日	1.370		
諸雑費(まるめ)		式	1.000		

※ 諸雑費は端数処理のみ計上する。

【機械運転単価表-3】空気圧縮機運転（エンジンコンプレッサ吐出量18.0～19.0m³/min）

1 日 当り

名 称	規 格	単位	数 量	諸雑費	備 考
軽油		L	156.000		
空気圧縮機賃料	エンジンコンプレッサ 18.0～19.0m ³ /min	日	1.330		
諸雑費(まるめ)		式	1.000		

※ 諸雑費は端数処理のみ計上する。

【機械運転単価表-4】ラフテレーンクレーン運転（[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊）

1 日 当り

名 称	規 格	単 位	数 量	諸雑費	備 考
運転手(特殊)		人	1.000		
軽油		L	102.000		
ラフテレーンクレーン損料	[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25t吊	供用日	1.020		
諸雑費(まるめ)		式	1.000		
※ 諸雑費は端数処理のみ計上する。					